

7月17日：VN指数は7日続伸（VN指数 +0.40%）

- VN指数は先週の上昇トレンドを継続し、上昇して始まった。
- 不動産株、特にビングループ関連のVHM（+4.6%）、VIC（+2.9%）、VRE（+2.3%）が上昇し相場を支えた。
- 一方、VCB（-0.2%）、BID（-1.2%）、CTG（-0.7%）などの一部の銀行株が指数を押し下げた。指数は横ばいで動いた。
- 午後に入ると一転、値動きの荒い展開となった。
- 騰落別では依然として幅広い銘柄が買われた。260銘柄が上昇、171銘柄が下落した。66銘柄は変わらずだった。
- 流動性は低下したが、売買代金で18.6兆ドンだった。

VN30指数はまちまち（VN30指数 +0.34%）

- 時価総額・流動性の大きい30銘柄で構成するVN30指数は、14銘柄が上昇、13銘柄のみが下落、3銘柄は変わらずとまちまちの動きだった。
- 相場を押し上げたのは、PDR（+3.2%）、NVL（+1.3%）、VHM（+4.6%）、BVH（+1.1%）、GVR（+1.9%）、VPB（+2.8%）などだった。
- 一方、下落した2銘柄はMSN（-1.3%）、MWG（-1.6%）、STB（-3.4%）、VNM（-1.4%）だった。

セクター・個別株の動き

- インドがコメの輸出規制をしたというニュースを受けて、PAN（+1.0%）やLTG（+3.3%）といった関連銘柄が買われた
- 鉄鋼価格の下落を受けて、HPG（-0.7%）も振るわない動きだった。
- 外国人投資家は5,115億ドンの買い越しだった。VHMとSSIが大きく買われた一方、VPBが売られた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。